

2017 年度 法学研究科 後期課程

9 月実施入学試験 論文試験問題

注意事項

- * 開始の指示があるまで解答を始めないでください。
- * 指定の六法および国際条約集以外は使用できません（字句の書き込みのあるものは使用できません）。
- * 出願時に届け出た科目で受験してください（科目変更はできません）。
- * 答案用紙は必ず 1 問ごとに 1 枚使用し、解答欄の冒頭に選択した問題の番号を明記してください。 例 → 「問題 1.」
- * 入試種別により試験時間が異なりますので注意してください。
- * 答案用紙上部の研究科名・専攻名・課程・受験科目名・受験番号・氏名記入欄を試験開始の指示があった後に、記入してください。

記入例：

研 究 科 名	専 攻 名	課 程	受 験 科 目 名	受 験 番 号	氏 名
法学研究科	法学専攻	後期	民 法	31〇〇〇〇〇〇	立命 太郎

* 試験時間：後期課程

外国人留学生入試	10:00～12:00 論文試験 （1 科目）
----------	-------------------------

- * 論文試験終了後、博士課程後期課程の外国人留学生入試の受験者は、13：50 までに存心館 2 F 7 0 3 号（面接待機会場）に集合してください。

2017 年度 法学研究科 9 月実施入学試験 後期課程 論文試験問題

商法

次の 2 問中から 1 問を選択して解答しなさい。解答の最初に選択した問題番号を明記すること。

1. 新株発行規制について、公開会社と非公開会社とでどのように異なるかを指摘した後、新株発行無効の訴えにおける無効原因につき、公開会社と非公開会社とでどのような差異が生じうるか、論じなさい。
2. 社債権者の保護という目的と社債管理者の設置という手段の対応関係について適否を論じなさい。